

会 議 録

会 議 の 名 称	第 6 回 行 田 市 産 業 交 流 拠 点 整 備 基 本 計 画 検 討 委 員 会
開 催 日 時	平 成 28 年 11 月 18 日 ( 金 ) 開 会 : 18 時 00 分 閉 会 : 19 時 30 分
開 催 場 所	産 業 文 化 会 館 2 階 第 2 会 議 室
出 席 委 員 氏 名	小 林 乙 三 ( 行 田 市 環 境 経 済 部 長 ) 大 野 真 理 ( ( 公 社 ) 行 田 青 年 会 議 所 ) 戸 塚 昌 利 ( NPO 法 人 行 田 観 光 物 産 会 ) 町 田 光 ( NPO 法 人 魅 力 創 造 倶 楽 部 ) 西 田 信 子 ( 行 田 軽 ト ラ 朝 市 実 行 委 員 会 ) 泉 達 也 ( 関 東 道 の 駅 連 絡 会 ) 堀 口 貴 子 ( 星 河 地 区 自 治 会 連 合 会 ) 市 川 ひ ろ み ( 星 宮 小 学 校 PTA ) 大 澤 和 美 ( 長 野 中 学 校 PTA ) 長 谷 川 浩 ( 農 業 従 事 者 ) 太 田 彰 ( 公 募 市 民 ) 吉 田 明 夫 ( 環 境 経 済 部 農 政 課 長 )
欠 席 委 員 氏 名	飯 嶋 隆 夫 ( 行 田 フ ラ イ ・ ゼ リ ー フ ラ イ 友 の 会 ) 小 池 利 昌 ( 行 田 市 商 店 会 連 合 会 ) 大 篠 一 也 ( 埼 玉 県 行 田 県 土 整 備 事 務 所 ) 伊 藤 徹 哉 ( 立 正 大 学 地 球 環 境 科 学 部 ) 大 橋 菜 央 ( リ ク ル ー ト じ ゃ ら ん 統 括 編 集 部 ) 告 広 子 ( 公 募 市 民 ) 岩 田 樹 一 良 ( 総 合 政 策 部 企 画 政 策 課 長 )
事 務 局	商 工 観 光 課 : 柿 沼 産 業 振 興 推 進 幹 、 赤 城 主 事 、 西 山 主 事 ラ ン ド ブ レ イ ン 株 式 会 社 : 石 村 、 福 島 、 野 沢
会 議 内 容	・ 議 事 1 ) 重 点 「 道 の 駅 」 に つ い て 2 ) 企 画 提 案 書 の 確 認 に つ い て ・ そ の 他
そ の 他 必 要 事 項	・ 傍 聴 者 3 名
発 言 者	会 議 の 経 過 ( 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 結 論 等 )
事 務 局 ( 柿 沼 )	開 会 資 料 確 認
	委 員 か ら の 近 況 報 告
小 林 委 員 長	議 題 ( 1 ) 「 重 点 「 道 の 駅 」 に つ い て 」 説 明 を お 願 い す る 。
事 務 局 ( 赤 城 )	( 資 料 2 ) 重 点 「 道 の 駅 」 に つ い て 説 明
長 谷 川 委 員	重 点 道 の 駅 の 中 で 、 企 画 段 階 で 選 ば れ て い る と ころ は あ る か 。
事 務 局 ( 赤 城 )	近 く だ と 、 桶 川 市 が 企 画 段 階 だ が 候 補 と し て 選 ば れ て い る 。
	そ の 他 の 重 点 道 の 駅 ( 以 下 「 重 点 」 ) だ と 、 千 葉 の 睦 沢 町 が ま だ 直 売 所

	<p>しかないが認定されており、認定理由とすると広大なスマートウェルネスタウンという企画によるものである。</p>
西田委員	<p>重点に選ばれるとどんなメリットがあるのか。</p>
事務局（赤城）	<p>行政的な話になるが、各調整で国の支援が受けられやすくなる。桶川市の副市長は国交省から出向しており直の支援を受けている。国が総力をあげて道の駅を作ろうとしている。</p> <p>ぜひ行田市も素晴らしい計画を立ち上げて国の支援を勝ち取りたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。</p>
泉委員	<p>現在、重点の候補として桶川が挙がっている。関東では、ひとつだけ重点候補から重点になっている道の駅がある。</p> <p>重点になると様々な支援を受けられるのでメリットはある。</p>
小林委員長	<p>国交省の方に直接会ったが、行田でもぜひと言われている。</p> <p>計画段階で重点候補ではなく重点になることもあると言われている。そうすると国交省で色々バックアップしてくれるようになり、農地問題も国交省から農水省へ話をしてくれる。</p> <p>国交省が選出したからには責任をもって出来上がるよう支援するので、いい計画を作ってほしいと後押しされている。</p> <p>熊谷という近い場所にも道の駅ができる予定の話をしたが、企画内容が別であれば近くでも大丈夫である。自分たちが目指すいい道の駅を企画してほしいと話を聞いてきた。</p> <p>議題2「企画提案書の確認について」説明をお願いします。</p>
事務局（赤城）	<p>（資料3）企画提案書（案）様式1</p> <p>（資料4）企画提案書 概要説明シート 様式2 説明</p>
西田委員	<p>この場所に行くには車かバスになると思うが、行田市で路線バスを整備していくのか。ここに集客をする物の提案はよいが、ここに人が来るまでの仕組みとしてバスなども載せても良いのではないかと。</p> <p>年配の方が自家用車に乗らなくても気軽に行けるようにバスを整備しようとしているのか、民間のバスを利用しようと思っているのか。人を運ぶ仕組みとしての提案がここに入ってくるといいと思う。</p>
事務局（赤城）	<p>提案は企画書（3）提案メニュー②具体的な提案メニューの交流拠点の所にまとめている。総合公園との連携と一緒に書かれているので、バスタ</p>

	<p>一ミナルについては、分けて具体的に書くようにしたいと思う。</p> <p>羽生インターから花園インターまでの観光バスの中継拠点と考えており、今後市内循環バスのほか路線バスも追加をしていきたいと考えている。</p>
大野委員	<p>産業振興については書かれているが、子育て世代の意見として、どこに行けば子育ての情報が共有できるのかがわかるといい。</p> <p>例えば病児保育は市内には1か所しかない。子供を預かれる施設についての記載があるとよい。</p> <p>防災について、備蓄倉庫だけでは弱い。設置する設備について、災害時の活用方法等を記載した方がよりよいと思われる。</p>
事務局（赤城）	<p>ご意見について、庁内の検討委員会でも同様の意見をいただいている。子育て支援施設と福祉施設、防災拠点に関してさらに具体化させていきたいと考えている。</p> <p>そのため、現在ヒアリングを行い調整中であり、今後企画提案書に盛り込んでいきたい。</p>
泉委員	地域センター型かゲートウェイ型のどちらを目指しているのか。
事務局（赤城）	両方を目指したい。
泉委員	そこが分かるように企画書に書き込むとわかりやすくなる。
西田委員	ここは行田市民が中心となる場所でよいと思うが、それだけでは、多くの施設を運営していくのは難しいものがある。ここから様々な情報を発信をすることによって行田を知ってもらい、購買につながるとよい。両方が必要だと思う。
事務局（赤城）	<p>整備のスケジュールで、サウンディング市場調査があり、そこで民間企業が来てもらえるか調査を行う予定である。</p> <p>昨年度の調査で通行量だけでも年間60万人以上の集客できるのではないかという試算が出ているので、それも踏まえて民間にも協力して頂き、道の駅を整備していきたい。</p>
町田委員	ここにある図面は仮であるのか。
事務局（赤城）	これは仮の案である。今までの意見を入れたものであり、あまり詳しく書いてしまうとそれに縛られてしまうといけないので漠然とした案である。

町田委員	ここまで開発できるという目安なのか。
事務局（赤城）	それも違う。まだ開発については未定であり、あくまで、レイアウトの参考である。
町田委員	<p>道の駅を敷地の角に持っていくのではなく、道の駅の両側の土地を開けておく方がいいと考える。</p> <p>民間の誘致を考えると、国道と敷地の内側にもう1本広い道が必要になってくると思うが、交差点の傍に道の駅があるより道の駅を真ん中に持ってきて周りに民間が来られるようにしておいた方が良くと思う。仮ということで、変更ができるのであれば良いが。</p>
小林委員長	<p>道の駅には単独型と一体型というのがあり、一体型は道路管理者がお金を出して設置する、単独型は市町村が自由に作ることが出来る。</p> <p>出来れば県と一緒にやりたいので、県の標準的なものになると角になってしまう。総合公園の交差点と羽生方面の道路から入れるようにして、24時間営業とするとこの場所になってしまう。道の駅を真ん中にすると入り方が複雑になってしまう。</p> <p>単独型であれば自由であるが、一体型となるとどうしても県側の意見になってしまう。しかし、その点については、今後の検討になると思う。</p>
町田委員	道の駅は国土交通省の補助金になるのか。
小林委員長	支出元は県になる。間接的に国からくることになるが。
町田委員	東北自動車道や関越道から近い。上越や信越にも行くことが出来る場所である。国に防災倉庫を建ててもらい、関東や東北への防災の拠点にならないか。国の事業を受けるようなことができないのか。
小林委員長	現在国交省に出せる範囲で書いているもので、決まっていないことを載せることは出来ない。また、裏付けのないものは書くことが出来ない。柔軟性があるような表現で書いている。
長谷川委員	様式2 連携を想定する機関等の中で、入っていない機関やNPOの足袋蔵ネットワークがここに入っていない理由はあるのか。
事務局（赤城）	足袋の推進協議会は立ち上げたばかりで軌道に乗っていないので記載をしなかった。現在書かれている団体の最後に「等」とし、書ける範囲で書いていく。
西田委員	企業の応援という場合、商工会議所は必要になると思うが。

事務局（赤城）	他の市町村では地元企業が合同で出資した特別目的会社を設立し、道の駅の管理運営をあたっている会社もあるので、商工会議所の連携も可能である。
西田委員	この中にある医療、子育て支援に市の窓口が出来ると思ってよいか。
事務局（赤城）	あまり想定していない。図面上で福祉総合施設が大きくなっているが、クリニックモールの方が大きくなると思っている。まだ案の段階なので大きさには縛られないで考えてほしい。
西田委員	実際に市の窓口が入るとしたら、エリアは医療、福祉、子育て施設の中に入るのか。 核のひとつは行田市の建物と捉えていたが、資料では民間事業者となっていたので聞いたのだが。
事務局（赤城）	建物については、市の単独型になるのか、県との一体型によって変わってくる。 PFIで行うとなるとどちらになるかは分からない。やってくれる民間がいないと出来ない。
L B 石村	窓口が市単独の建物ということになるわけではないと思うので、民間が運営する建物の一画でということになると思う。 子育て支援施設については調整して検討していく必要はある。 これからの協議で建物の大きさも変わってくることになる。
太田委員	要するにまだ何も決まっていないということであり、民間事業者が来たいと思うような場所にしたいということ。 市民に対しては、医療、福祉、待機児童の対応をして人口増加を目指す。 125号線の利用者の財布からいかに落としてもらえるのか。 行政が法律などの問題を解決してもらい、民間がやり易く、利益の上げられる環境づくりにできるように、この場で意見を出している。
小林委員長	国は企画・提案で選ぶことになるので、注目を浴びるような提案をしたい。細かい経営などについては今後のことである。
西田委員	今はステップ1にも行っていないということか。
事務局（赤城）	現在は基本計画の検討委員会を立ち上げている段階で、来年度以降民間の事業者もあたりをつけていきたい。
小林委員長	私と市長で農水省へ行ってきた。

	<p>実際は動いているが、具体的な内容の前にまず国交省である。</p> <p>皆さんに企画提案書の内容はこのぐらいでよいということであれば、それを受けて新しい様式に合わせてすぐに提出したい。</p> <p>皆様にこの内容でよいのか総意を頂きたい。</p>
大野委員	確認したいのだが、重点道の駅で共通しているところがあるのか。
小林委員長	他と違うということで重点道の駅が選ばれているので、共通しているところはない。
町田委員	病院はないのか。
小林委員長	<p>病院は個人でできないので、クリニックモールとしている。</p> <p>情報が洩れて他にとられる前に早く提出したい。</p>
西田委員	アグリパークも特化しているのではないか。
小林委員長	<p>アグリパークはすでに事例がある。</p> <p>ご意見を生かし、国からの今年度の募集がありましたらすぐにでも企画提案書を提出したいと思っている。</p>
事務局	<p>事務連絡。</p> <p>次回 12 月 14 日を予定している。</p>
	チェックアウト